

5 創作活動

活動名		(I) プラホビー
活動のねらい		プラホビー作りを通して、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時間・費用		70分・100円
対象・人数		幼児以上・120人以内
場所		研修室，創作のやかた など
準備品	研修団体	A5サイズ程度の下絵（自然の家にもありますが、必要に応じて準備してください。）
	自然の家	プラ板，油性マジック，キーホルダー，下絵見本，伸ばし板 はさみ，穴あけパンチ，ラジオペンチ，オーブントースター くっつかないアルミホイル，割り箸，軍手
活動内容		1 集合，あいさつ 2 説明 (1) 道具，材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 ※(3)～(5)は自然の家職員が行います。 (1) 絵・デザイン等を決めて，プラ板に油性マジックで描く。 (2) はさみで形を整え(角を残さない)，パンチで穴をあける。 (3) しわを付けたアルミホイルの上にプラ板(絵を描いた面を上)を置き，オーブントースターで熱する。 (4) プラ板が収縮した後に，平らになるタイミングで取り出して，伸ばし板ではさむ。 (5) ラジオペンチでキーホルダーを取り付ける。 (6) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (7) 後片付けをする。 4 集合，あいさつ
留意事項	研修団体	○ プラ板のペンで描いた面はアルミホイルにくっつくことがあるため，片面にのみ描かせる。

活 動 名		(2) サンドアート
活動のねらい		サンドアート作りを通して、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		140 分・150 円
対 象 ・ 人 数		小学5年生以上・120 人以内
場 所		研修室，創作のやかた など
準備品	研修団体	鉛筆，消しゴム
	自然の家	台紙(色紙に粘着紙を貼り付けたもの)，アートナイフ，スプーン(各色用)，見本絵，着色砂，ラップ，セロハンテープ，カーボン紙
活 動 内 容		1 集合，あいさつ 2 説明 (1) 道具，材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 台紙に貼り付けた粘着紙に鉛筆で下絵を描く。 ※ カーボン紙を使って，見本絵を写してもよい。 (2) 下絵に沿ってすべての色の境界をアートナイフでカットする。 ※ 色紙まで深く刃を入れない。(粘着部分がはがれるため) (3) はく離紙を丁寧にはがし，色砂をスプーンでふりかける。 ※ 細かい部分からはがす。(目，口など) ※ 粘着部分まではがさないように気を付けながら，はく離紙をはがす。 (4) 台紙の裏から軽くたたいて，余分な色砂を落とす。 (5) ラップでくるむ。 (6) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (7) 後片付けをする。 4 集合，あいさつ
留意事項	研修団体	○ アートナイフの取扱いについては，十分気を付ける。 ○ 色砂が混ざらないように気を付ける。



活 動 名		(3) サンゴクラフト
活動のねらい		サンゴクラフト作りを通して、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分～140 分・50 円
対 象 ・ 人 数		幼児以上・120 人以内
場 所		研修室，創作のやかた など
準備品	研修団体	サンゴ，貝殻，シーグラス
	自然の家	ホットボンド
活 動 内 容		1 集合，あいさつ 2 説明 (1) 道具，材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) サンゴの形から，イメージをふくらませる。 (2) サンゴをホットボンドで接着しながら組み立てる。 (3) 組み立てたサンゴに，ホットボンドで貝殻やシーグラスを付ける。 (4) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (5) 後片付けをする。 4 集合，あいさつ
留意事項	研修団体	○ ホットボンドの取扱いについては，十分気を付ける。 ○ グルーガンの先やホットボンドは高温になっているため，直接触らないように気を付ける。 ○ 作品を持ち帰ることを考慮し，作品の大きさには留意する。



活 動 名		(4) Seaストラップ
活動のねらい		紙製のひもを編み、ストラップを作る活動を通して、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時間・費用		70分～140分・50円
対象・人数		小学5年生以上・50人以内
場 所		研修室，創作のやかた など
準備品	研修団体	特になし
	自然の家	ラジオペンチ，はさみ，水引（紙製のひも），ビーズ，貝殻，サンゴ
活 動 内 容		1 集合，あいさつ 2 説明 (1) 道具，材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 自分が作りたいものをはっきりさせ，材料を選ぶ。 (2) 編み方や糸の端の処理に気を付けながら作品を仕上げる。 (3) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (4) 後片付けをする。 4 集合，あいさつ
留意事項	研修団体	○ ストラップの編み方については，団体引率者も事前に研修し，指導ができるようにする。



活 動 名		(5) 木エペンダント
活動のねらい		木エペンダント作りを通して、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分・50 円
対 象 ・ 人 数		幼児以上・120 人以内
場 所		研修室，創作のやかた など
準備品	研修団体	特になし
	自然の家	輪切りの木(ヒサカキやサザンカ等，ツバキ科の植物)，サンドペーパー，マジックペン，ひも，丸カン，ラジオペンチ，新聞紙
活 動 内 容		1 集合，あいさつ 2 説明 (1) 道具，材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 輪切りにした木をサンドペーパーで磨いて，表面をなめらかにする。 (2) マジックペンで絵を描く。 (3) 丸カンを取り付けて，ひもを通す。 (4) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (5) 後片付けをする。 4 集合，あいさつ
留意事項	研修団体	○ 事前にどのような絵を描くのかある程度の構想を練っておく。



活 動 名		(6) 焼き板
活動のねらい		焼き板作りを通して、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		140 分・200 円
対 象 ・ 人 数		小学5年生以上・120 人以内
場 所		創作のやかた など
準備品	研修団体	軍手、汚れてもよい服装
	自然の家	杉板、ガスバーナー、たわし、布、ヒートン、アルミマンテル、アクリル絵の具、筆
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具、材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 杉板をバーナーで焼き、焼き色を付ける。 (2) たわしでこすってすすを落とす。 (3) 布でこすってつやを出す。 (4) ヒートンとマンテルを取り付ける。 (5) 好きな絵や文字を描く。 (6) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (7) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ ガスバーナーの取扱いについては、十分気を付ける。 ○ ガスバーナー使用中や使用後は、ガスバーナーのバーナー部が高温になるため触らないよう十分注意する。 ○ ガスバーナー使用後は、ガス栓を閉め、安全な場所に置く。



活 動 名		(7) フォトフレーム
活動のねらい		フォトフレーム作りを通して、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		140 分・300 円
対 象 ・ 人 数		小学5年生以上・80 人以内
場 所		創作のやかた など
準備品	研修団体	軍手、汚れてもよい服、貝殻、シーグラス、サンゴ
	自然の家	杉材、プラ板、色画用紙、木ねじ、タッカー、木工用ボンド、ヒートン、たわし、布、キリ
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具、材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 杉材を寸法通りに切り、バーナーで焼いて焼き色を付ける。 (2) たわしでこすってすずを落とす。 (3) 布でこすってつやを出す。 (4) 木工用ボンドで接着して枠を作り、ホッチキスで仮留めする。 (5) プラ板2枚、色画用紙を1枚重ねて置き、写真を入れる角を残して、周りを木ねじで止める。(3箇所木ネジ、1箇所ヒートン) (6) フレーム支えをボンドで付ける。 (7) 表に向けてシーグラスや貝を貼る。 (8) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (9) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ ガスバーナーの取扱いについては、十分気を付ける。 ○ ガスバーナー使用中や使用後は、ガスバーナーのバーナー部が高温になるため触らないよう十分注意する。 ○ ガスバーナー使用後は、ガス栓を閉め、安全な場所に置く。



活 動 名		(8) 壁掛け
活動のねらい		壁掛け作りを通して、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分(人数によっては 70 分～140 分)・100 円
対 象 ・ 人 数		小学5年生以上・120 人以内
場 所		創作のやかた など
準備品	研修団体	軍手、汚れてもよい服、貝殻、シーグラス、サンゴ
	自然の家	洋折(L字フック)、麻紐、杉板(焼き板の半分)、ガスバーナー、たわし、布、木工用ボンド
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具、材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 杉板をバーナーで焼いて焼き色を付ける。 (2) たわしでこすってすずを落とす。 (3) 布でこすってつやを出す。 (4) 麻紐や洋折(L字フック)を取り付ける。 (5) 準備したシーグラスや貝殻をつける。 (6) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (7) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ ガスバーナーの取扱いについては、十分気を付ける。 ○ ガスバーナー使用中や使用後は、ガスバーナーのバーナー部が高温になるため触らないよう十分注意する。 ○ ガスバーナー使用後は、ガス栓を閉め、安全な場所に置く。



活 動 名		(9) 七宝焼
活動のねらい		七宝焼作りを通して、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分～140 分・350 円
対 象 ・ 人 数		小学生以上・80 人以内
場 所		研修室 など
準備品	研修団体	特になし
	自然の家	キーホルダー、厚紙、ホセ、水入れ、釉薬、瞬間接着剤、電気炉、つまようじ、キッチンペーパー、ピンセット
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具、材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 銅板を洗剤につけて水洗いをする。 (2) 銅板にホセで2～3色程度の釉薬を乗せ、デザインする。 ※ 釉薬を乗せすぎないようにする。 ※ 釉薬が銅板からはみ出さないようにする。 ※ 2色以上の釉薬を乗せる場合は、ホセをしっかりと洗う。 (3) 銅板を金網にのせ、電気炉で焼いてもらう。 (4) 冷めたら、接着剤でキーホルダーに取り付ける。 (5) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (6) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ 事前にキーホルダー（5種類）を選択し、デザインを考えておく。 （5種類・・・①丸形②雫型③エンゼルフィッシュ④イルカ⑤ハート） ○ 電気炉は800℃以上になるので、さわらないように注意する。 ○ 釉薬が混ざらないように注意する。



活 動 名		(10) 藍染
活動のねらい		藍液で布を染める活動を通して、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分～140 分・400 円(ハンカチ代含む)
対 象 ・ 人 数		幼児以上・120 人以内
場 所		創作のやかた など
準備品	研修団体	使い捨て手袋
	自然の家	ハンカチ、藍液(インド藍、溶解液、安定剤、ハイドロ、ソーダ灰) 絞り道具、ゴム手袋、酢酸、洗濯ばさみ
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具、材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) ハンカチに絞りを入れる。 (2) 藍液に10分間つける。 (3) 藍液から取り出して10分間空気にさらし、水洗い(1回目)をする。 (4) 絞りを外してさらに空気にさらし、色が変わったら水洗い(2回目)をする。 (5) 酢酸に5分間つけて色留めをし、水洗い(3回目)をする。 (6) 干して乾かしながら相互鑑賞をする。 (7) 後片付けをする。(使った絞り道具や汚れた場所の清掃) 4 集合、あいさつ 
留意事項	研修団体	○ 手を汚さないように使い捨て手袋を使う。 ○ 衣服に藍液が付かないように気を付ける。

活 動 名		(II) 紬クラフト
活動のねらい		紬クラフトを作る活動を通して、創作の喜びを味わうとともに、身近な場所に素材があることに気付き、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分～140 分・200 円
対 象 ・ 人 数		小学5年生以上・100 人以内
場 所		研修室，創作のやかた など
準備品	研修団体	鉛筆，消しゴム，手ふき用タオル
	自然の家	二枚貝 1 組，大島紬の端布，ひも(赤)，錦糸(金・銀)，鈴，短冊， 接着剤，両面テープ，木工用ボンド
活 動 内 容		1 集合，あいさつ 2 説明 (1) 道具，材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 貝殻の蝶つかい部分を外して，片方ずつにする。 (2) 貝殻の内側に木工用ボンドを適量つける。 (3) 裁断した布地でそれぞれの貝殻をくるみ，木工用ボンドで固定する。 (4) 赤いひもに鈴を通す。 (5) 貝殻の内側の縁に接着剤を塗り，自分の思いを書いた短冊を入れて，貝でひもの端を挟んで押さえる。 (6) 貝の縁に接着剤を付け，錦糸で縁飾りをする。 (7) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (8) 後片付けをする。 4 集合，あいさつ
留意事項	研修団体	○ 手についた接着剤はこまめに拭き取るように注意する。



活 動 名		(12) なりキーホルダー
活動のねらい		なり（ソテツの実）に絵を描く活動を通して、身近な場所に素材があることに気づき、創意・工夫しながら、主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分・100 円
対 象 ・ 人 数		小学生以上・100 人以内
場 所		研修室，創作のやかた など
準備品	研修団体	鉛筆，消しゴム
	自然の家	キーホルダー付なり，油性マジック，ニス，トイレットペーパー，なり乾燥台
活 動 内 容		1 集合，あいさつ 2 説明 (1) 道具，材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 鉛筆で薄く下絵を描き，油性マジックで色を塗る。 ※ 下絵はなくてもよい。 (2) 絵を描いた裏面には，油性マジックで文字を書く。 ※ 文字は希望者のみ。裏面も絵でよい。 (3) ニスを塗って乾燥させる。 (4) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (5) 後片付けをする。 4 集合，あいさつ
留意事項	研修団体	○ ニスを塗って感想させる際は，窓を開けて換気をする。



活 動 名		(13) ジェルアート
活動のねらい		ジェルアート作りを通して、創作の喜びを味わうとともに、身近な場所に素材があることに気付き、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分・200 円
対 象 ・ 人 数		小学生以上・80 人以内
場 所		研修室 など
準備品	研修団体	貝がら、サンゴ、シーグラス、その他季節感のある素材等飾りになるもの（ラメ、ビーズ、おはじき）
	自然の家	ジェルワックス、瓶、色砂、わりばし、ピンセット、軍手、ホットプレート、計量カップ、付箋
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具、材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 色砂を瓶の 1／3 程度入れる。 (2) 貝がらやビー玉、シーグラスなどを色砂の上に並べる。 (3) ジェルワックスを温めて溶かす。 (4) 溶かしたジェルワックスを瓶にゆっくり流し込む。 (5) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (6) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ 流し込んだジェルワックスは、熱いのでやけどに十分注意する。



活動名		(14) 折り染めうちわ
活動のねらい		折り染めうちわ作りを通して、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら、主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時間・費用		70分～140分・150円
対象・人数		5年生以上・50人以内
場所		研修室、体育館 など
準備品	研修団体	鉛筆、消しゴム、アイロン（研修人数に応じて）
	自然の家	和紙(一人2枚)、うちわの骨、はさみ、スティックのり、染料、吸い取り紙(習字紙)、アイロン、アイロン台、見本
活動内容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具、材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 和紙を折る。 (2) 和紙を染料に付ける。 (3) 和紙を乾かす。 (4) 乾いた和紙をうちわの枠に合わせて切る。 (5) うちわの骨にのりをつけ、和紙を貼り付ける。 (6) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ 
留意事項	研修団体	○ 染料が服などにつかないように気をつける。 ○ アイロンを使用するときには、やけどをしないように気をつける。 ○ 30人以上の団体は、研修生の人数に応じてアイロンを準備する。

活 動 名		(15) 折り染めバッグ
活動のねらい		折り染めバッグ作りを通して、和紙の折り染め技法を知り、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら、主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分～140 分・100 円
対 象 ・ 人 数		5 年生以上・50 人以内
場 所		研修室、体育館 など
準備品	研修団体	鉛筆、消しゴム、アイロン（研修人数に応じて）
	自然の家	和紙(一作品2枚)、厚紙、取っ手用和紙、取っ手貼付用和紙、台紙、はさみ、スティックのり、染料、見本、吸い取り紙、アイロン、アイロン台延長コート
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具、材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 和紙を染める。 (2) 2枚の和紙を貼り付ける。 (3) バッグの形に成形し、取っ手をつける。 (4) 完成品を相互鑑賞する。 (5) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ 
留意事項	研修団体	○ 30 人以上の団体は、研修生の人数に応じてアイロンを準備する。

活 動 名		(16) 石ころアート
活動のねらい		石ころアート作りを通して、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分・50 円
対 象 ・ 人 数		幼児以上・120 人以内
場 所		研修室，創作のやかた など
準備品	研修団体	鉛筆(下書き用)
	自然の家	石ころ，アクリル絵の具，絵筆 など
活 動 内 容		1 集合，あいさつ 2 説明 (1) 道具や材料の準備，配布 (2) 手順確認 (3) 安全面 3 活動 (1) 石の形や色を見て，作品のイメージをふくらませる。 ※ 石の特徴から，デザインや色等を決めさせる。 (2) 鉛筆で下書きをする。 (3) 下書きに合わせてアクリル絵の具で色を塗る。 (4) 作品が完成したら相互評価をし，活動の振り返りをする。 (5) 後片付けをする。 4 集合，あいさつ
留意事項	研修団体	○ 事前にどのような絵を描くのかある程度の構想を練っておく。 ※ 団体の方で石ころを準備しておき，どのような絵を描くのか事前にイメージさせておいてもよい。 ○ 重ね塗りをする場合は，しっかり乾いてから塗るように指導する。

